



令和7年度 自ら学び 自ら考え 自ら行動する子を育てる

松林小だより

10月

令和7年9月30日 第7号 茅ヶ崎市立松林小学校 校長 下反 達二

優しいまなざし

秋の空は高く、空気はすみきっています。残暑もようやくおさまリ、子どもたちのためには恵まれた屋外での活動の季節となりました。この好日は一年の中でも貴重です。

児童を見守ってくださっている『旗振りボランティア』の皆さんには、4月からこれまで、毎日、子どもたちの安全を見守り、子どもたちを元気づけていただき、本当にありがとうございます。

登校時の児童の様子を見てみると、見守りの方々にしっかり目を合わせて「おはようございます」と元気よく挨拶をしている子がたくさんいて感心します。活気あふれる声の子、柔らかく優しい声の子、丁寧にお辞儀をする子、そっと近くで挨拶をする子。その子らしさが挨拶には現れます。見守りの方も優しいまなざしでじっと見て、その子に合わせていろいろに言葉かけをされています。「今日の給食はマーボー春雨だよ。」「車が来ているから気を付けてね」「今日は虫取りいくの？」などなど。このような見守りの方と子どもたちが、心を通わせている様子に毎日心が温かくなります。子どもたちもきっと見守りの方から、「おはよう」の挨拶とそこはかたにじみ出る「温かさ」を受け取り、気持ちよく、朝をスタートさせることができるのだと思います。誰かに見守られているというこの安心感は、自立へ向かう子どもたちの成長にとって、貴いことだと思います。ありがとうございます。



<6年生の防災学習へのご協力ありがとうございました>

先日は、6年生の防災学習に際し、推進協・自治会・消防団・保護者の皆様には暑さの残る中、多大なるお力添えをいただきました。放水訓練・炊き出し体験・担架体験・発電・仮設テントはり体験等々、盛りだくさんの内容で6年生の自助・共助の防災スキルがぐっとレベルアップしたようです。本当にありがとうございました。

<前期が終了します>

前期終了まで残り数日となり、子どもたちは学習の振り返りにまとめにと熱心に取り組んでいます。4月に入學・進級してから、あっという間に半年が過ぎようとしています。

10月10日(金)の終業式の日には、お子さんの学校での様子をお知らせする「家庭への知らせ」をお渡しします。各担当の教員が、学習の様子について心を込めて評価しております。

この「家庭への知らせ」の学習評価は、誰かの成績と比べるものではなく、今学期の自分をふり振り返り、次へのステップにつなげていくためのものです。そして「よくできる」「できる」「もう少し」(1年生は「できる」「もう少し」)のうち「できる」が目標に照らして、おおむね満足できる状況です。文部科学省が定める学習指導要領の目標を達成している状況で、学校では子どもたちがこの「できる」の状況になることをめざして日々授業改善を行っています。「もう少し」があるからダメとか『よくできる』ではないからもっとがんばらないといけない！」ではなく、「できた」ことをもとに、継続したり、また次の学期や学年にもつなげて頑張ったりできるよう、是非お子さんと一緒にご覧になりながら、頑張ったことへの励ましの言葉をかけてあげてください。そして、後期はどんなことを頑張ろうか、具体的にお話ししてみてください。短い秋休みではありますが、後期の取組への意欲が高まるような時間を過ごしていただければと思います。

後期は、運動会(スローガンは「みんなでつなげ勇気のバトン」に決定しました。)をはじめ様々な行事を予定しています。引き続き、子どもたち一人ひとりが学習面、生活面等、あらゆる面で充実した活動ができるよう教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。今後も松林小学校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。